

要 約

エチルフェニルアミンの藻類生長阻害試験を *Selenastrum capricornutum* を用いて実施した。

試験は、6濃度区[100、45.5、20.7、9.39、4.27及び1.94 mg/L(公比2.2)]及び対照区、暴露時間72時間、培養温度 $23\pm 2^{\circ}\text{C}$ 、蛍光灯による照明(照度4,000～5,000 lux、連続照明)、旋回振とう培養(約100回/分)で行った。藻類の生長は、細胞濃度によって調べた。

その結果、試験液中の被験物質濃度は、暴露開始時では設定値に対して95.5～99.2%、終了時では69.0～73.1%であり、暴露開始時の測定濃度が設定濃度の $\pm 20\%$ 以内であったため、試験結果は設定濃度に基づいて算出した。

生長曲線下面積、24-48時間及び24-72時間生長速度によって算出したエチルフェニルアミンの50%生長阻害濃度(EC50)はそれぞれ15.0、44.0及び46.5 mg/Lであった。また、最大無影響濃度(NOEC)はそれぞれ4.27、9.39及び9.39 mg/Lであった。